

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (東北)	◎	＊	＊	＊
	○	一般小売店 〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク期間中、様々なイベントが新型コロナウイルス感染症発生前と同様の内容で実施されたこともあり、県内外からの観光客が前年よりも増加した。その影響で観光施設、ホテル・旅館等への販売量も増加傾向にあった。しかし、一般消費者への販売量の動きは依然として鈍い。消費者は価格に関して今まで以上に敏感になっている。
	○	百貨店（催事担当）	来客数の動き	・アパレルショップの改装効果や催事の強化により、来客数が前年比2けたの伸びとなっている。
	○	コンビニ（経営者）	それ以外	・除雪費用の支払もようやく終わり、季節的にも来客数は増えている。だが、毎年様々な経費が増加しており常にギリギリの経営である。6月からは電気代が上がる。最低賃金も引き上げることになれば、持ちこたえられないほどの状況である。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数は横ばいだが単価が上昇傾向にあり、販売量も微増している。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・人の動きが良くなっている。
	○	コンビニ（エリア担当）	それ以外	・賃上げが行われている。しかし、周りの中小企業は置いていかれており何も変わっていない。
	○	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・来客数の減少を客単価でカバーしてしのいでいる。
	○	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・定期異動があるためか、スーツを準備するサラリーマンの来店が多くなっている。おおむね好調である。
	○	家電量販店（従業員）	来客数の動き	・3か月前と比べて来客数やレジ通過客数が増加しており、前年同月比でみても増加している。気温の高い日が多いため、エアコンを中心に、購入には至らないまでも下見の客が増加傾向にある。
	○	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車の発表があり、先行予約が好調である。売上増加の見通しが立っている。
	○	住関連専門店（インテリアコーディネーター）	販売量の動き	・住宅のインテリア販売会では購買量が増えている。円安のなかにあっても需要はある。
	○	その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・商品の値上げで客の購買意欲がシビアになっている。
	○	高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・宿泊稼働率と客単価の上昇が見込まれる。また、宴会場の回転数も上昇しており、売上が総合的に上がる見込みである。
	○	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・インバウンドの先行予約が好調である。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・全国大会や総会のシーズンがスタートしており、300人以上の宴席も多数入っている。
	○	旅行代理店（従業員）	それ以外	・県内の当社契約宿泊施設の販売推移の5月実績は人泊、金額共に前年比約80%と前年を下回っている。先行受注の伸び率もやや鈍化している。
	○	美容室（経営者）	販売量の動き	・美容施術額は前年同月並みに戻っている。さらに、シャンプーやトリートメントなどの美容関連商品に加え、高額美容器具等の販売が好調である。
	○	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・商品の販売価格は20%ほど上昇しているが、来客数、売上共に前年を上回っており、好調が続いている。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・修学旅行や観光客が増加傾向にあり来街者数は増加しているが、物価高騰の影響を受けて商店街の売上は横ばいである。
□	商店街（代表者）	来客数の動き	・コロナ禍で自粛していたイベントが再開され、にぎわいが戻ってきたが、来客数や売上の増加にはつながっていない。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの来客数は若干減少した。逆に地域の小型店の来客数は伸びていることから、全体的に遠出を避け近場で過ごす人が多かったようである。後半はほぼ前年並みの来客数で推移している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（従業員）	お客様の様子	・行楽、旅行などの外出マインドは高く、靴、帽子など関連アイテムは好調に推移しているものの、衣料の買換えまでとはいかず、必要最低限の買物など節約志向が継続している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の減少が続いている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	販売量の動き	・3か月前と比較し、販売量に変化がみられない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は前年比ほぼ横ばいである。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・商品価格の上昇が止まらず、特に高齢の客の買上点数が落ち込んでいる。商品単価の上昇で売上は良くみえるが、販売量は前期を割る日もある。特売品と見切り品、処分品の動きが顕著に伸びており、利益が取れる商品の動きが鈍いのが現状である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業担当）	販売量の動き	・単価が微増し買上点数が伸びないため、売上は苦戦している。ただし、前年比では売上、来客数共に変わっていない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・天候要因もあるが来客数に変化はない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・商品の標準小売価格の上昇で全体的な売上は前年を超えているが、買上点数は減少傾向にある。値上げに対して賃上げが追い付いていない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・景気が上向きに転じる要因がない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・夏物制服や作業服等の売上が順調である。また、祭り用品も動き始めている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・暖かくなり夏物も動いている。しかし、食料品などの値上げの影響で、ぜいたく品の購入にブレーキを掛けている様子が客にみられる。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・旅行、出張用途など目的に応じた需要は安定しつつある。しかし、ふだん着需要においては、消費マインドが天候に大きく左右され、不安定な状態が続いている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	お客様の様子	・来客数は前年比98%と落ちているが、円安等の影響で仕入価格が上がっていることから商品単価が上がり、売上は前年比105%となっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・メーカートラブルが原因で配車供給が安定しない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・来客数はほぼ変わらず、商談数や車のメンテナンスの単価も変わっていない。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	競争相手の様子	・同業者との会話で、暖冬の影響で除雪機などのオフシーズンの整備やパーツの受注量が減少しそうだとの話が出る。他社も同様に厳しい状況である。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	販売量の動き	・今年の夏も暑いとの予報が出ているが、夏物の動きが予想を下回っており、厳しい状況である。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・販売量は前年と同様に推移している。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後1年が経過したが、以前の販売量には戻っていない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークもその後も来客数はひどい状況である。後半にかけて上向いたものの、通年でみても良くない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	それ以外	・賃上げが物価高に追い付いていない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・物価高の影響で単価を下げることができず、来客数が少ない状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・前年と比較し旅行需要は回復傾向にあるが、旅行外需要の落ち込みが大きい。

□	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・海外出張や帰省の動きはあったものの、エネルギー価格の高騰や為替の問題から、旅行などへの消費は依然良くない。来客数や問合せ件数も3か月前と比べて増えていない。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・上旬に連休があったことや気温が暖かかったことにより、昼間の利用者は少ない。しかし、出張者や総会などの交流会参加者の利用は多くなっている。
□	通信会社（経営者）	お客様の様子	・放送サービスの新規加入者数は微増だが、解約者数が減少しているため加入者数は純増で推移している。テレビをインターネットに接続する利用者が増えているため、通信サービスも加入者数は微増だが、解約者数が少ない分、純増をキープしている。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化がみられない。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・景気が上向く要因が見当たらない。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・物価高でコスト削減が続いている。
□	通信会社（社会貢献担当）	単価の動き	・物価上昇と実質賃金マイナスの影響か、客はコストを意識するようになってきている。
□	その他サービス【寮管理】（管理人）	お客様の様子	・電気料金等の値上げラッシュが目立つ。賃金上昇が価格に転嫁されているため、3か月前と変わらず景況感は悪い。
□	住宅販売会社（経営者）	それ以外	・戸建て住宅は客単価の低い企画住宅が多く、受注額が低いが、法人等の構造物の受注があるため、全体的には受注額は何とかなっている。
□	その他住宅【リフォーム】（従業員）	販売量の動き	・住宅設備機器は、猛暑予報を背景に新たにエアコンを増設する工事が増えている。エアコンの性能アップを図る買換えも増えている。リフォームは、好天に恵まれ屋外のせん定や外構工事が増えている。一方で、屋内の改修に伴う増改築工事は伸びていない。
□	その他住宅【住宅展示場運営会社】（従業員）	来客数の動き	・来場者数、成約棟数は前年比、前月比共に微増である。
▲	一般小売店【酒】（経営者）	来客数の動き	・連休中は来客数が多かったものの、休み明けは急に静かになっている。
▲	一般小売店【医薬品】（経営者）	来客数の動き	・5月はマラソン大会や祭りなどが開催されたため大勢の人が集まったが、夜の繁華街には新型コロナウイルス感染症の影響で人が全く集まらなかった状況が続いている。
▲	一般小売店【医薬品】（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年比2割減少しており、売上にも響いている。
▲	一般小売店【医薬品】（経営者）	単価の動き	・売上が非常に悪かった2月と比べて、来客数は横ばいだが、客単価は更に落ちており、今までで最も悪くなりそうである。
▲	一般小売店【雑貨】（経営者）	来客数の動き	・例年、田植の時期が終わると来客数は戻るが、今年は戻っていない。
▲	百貨店（企画担当）	来客数の動き	・前年の周年記念企画の反動もあるが、外商顧客を含めた識別顧客の売上が特に厳しい。インバウンド需要は伸長しているが、全体売上が底上げするには至っていない。
▲	スーパー（経営者）	単価の動き	・5月の平均1品単価の前年比に変化はなかったが、来客数と買上点数は減少している。可処分所得減少の影響がじわじわと消費に出ている。消費の傾向は良くない。
▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・単価を下げているため買上点数が増加しているが、客単価が下がり続けている状況であり、前年比97.3%となっている。
▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数が前年と比べて減少傾向にある。
▲	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・円安が進み、値上げが続いている。ここまで来ると消費者は生活防衛意識が働く。必要なものを必要な分しか買わない状況が続いている。

▲	スーパー（商品担当）	販売量の動き	・3か月前と比べると買上点数が減少し、客単価はやや低下している。
▲	コンビニ（経営者）	単価の動き	・相次ぐ値上げにもかかわらず好調を持続していた客単価が、今年初めて前年を割っている。
▲	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今月は各種税金の支払があり、客はそちらを優先するため、商品の購入まで回ってこない。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数、客単価共に減少している。物価高の影響が出ており、客は無駄な物を買わないが、値引き品に対する反応は良い。
▲	コンビニ（店長）	単価の動き	・ゴールデンウィークが明け、自動車税等の支払があったためか、月末に客単価が下がっている。景気は冷え込んでいる。
▲	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・2度、3度と来店してから購入するケースが非常に多い。買物に対して慎重になっている。
▲	家電量販店（従業員）	販売量の動き	・テレビやパソコン、携帯電話の販売量は前年比では減少しているが、エアコンは好調である。全体的には前年比98%である。
▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・法人客の受注は増えているが、個人客の受注がなかなか伸びない。
▲	乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・人気車種の販売停止の影響で、国産車部門の受注は予想したより伸びていない。輸入車部門はそもそもの生産台数が前年比5割以下と大幅に減少しており、受注も半減している。
▲	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・受注生産をしているが、受注量が減少しており販売量も減少している。
▲	その他専門店〔酒〕（経営者）	お客様の様子	・ゴールデンウィークの需要があった反動もあり、その後は消費者の節約志向が強くみられる。全体的に動きが少ない状況である。
▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後初のゴールデンウィーク商戦があったにもかかわらず、今月の売上は前年比103%、来客数は101%と減少傾向にある。2019年比では、売上は98%、来客数は88%と微減している。
▲	一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・同業者も本店と同様に今月は暇だと言っている。景気はやや悪い。
▲	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・来客数は前年比90.6%である。ランチはビジネスマン層が減っていて、ディナーはどの客層も減少している。ティータイムは高齢者層が多く、変わらず推移している。
▲	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの来客数はほぼ予定どおりだったが、その後の動きは余り良くない。
▲	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・4月の販売は新型コロナウイルス感染症発生前及び前年並みで推移していたが、5月以降は鈍化傾向にある。大会などの大きな団体が動いているため、全体の数値は大きく落ち込んでいないが、宿泊費が高騰しており個人旅行に影響が出ることを懸念している。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・5月は前月と比べて買物でタクシーを利用する客が少なく、街中でもタクシーを利用する人がいない。自動車税や固定資産税等の支払を控えているためではないか。
▲	観光名所（職員）	単価の動き	・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う特需が終わったのか、物価高の影響なのか、客単価が下がっている。来客数は余り減っていないが売上が若干落ちている。
▲	遊園地（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークも天候に恵まれ、コロナ禍からの回復を期待したがそれほど勢いはなく、来客数は前年に及ばない見通しである。物価上昇が家計に影響していることが要因ではないか。
▲	競艇場（職員）	来客数の動き	・いろいろなイベントを行って来場促進を図っているが、なかなか人が集まらない。最近は常連客の来場も減っている。
▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・常連客のみで新規客が増えないため、変わらない。
▲	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・競争入札の落札率が低下しており、受注確保に向け価格競争が厳しくなっている。

	×	商店街（代表者）	それ以外	・商店街では飲食業に限らず小売業の閉店も増えている。かなり悪い状況にある。
	×	一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・商品の動きが更に悪くなっており、粗利が上がる仕立てはほぼないに等しい。
	×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・円安が進み金利も上昇局面にあり、物価の上昇が止まらない。消費者の節約志向が強まっており、買わないという選択もしている。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・期待していたゴールデンウィークも来客数はさほど良くなかった。その後の来客数も少なく、景気は悪い。
	×	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・例年この時期の夜の繁華街は、一般客の動きは少ないものの、各種団体や組合、法人などの総会や打合せ等で活気がある。しかし、今年は予想以上に人が少ない。物価上昇により家計に余裕がないため、昼食を店で食べるよりも安いコンビニの弁当を買うという客の話を多く聞く。
企業 動向 関連 (東北)	◎	農林水産業（従業者）	受注量や販売量の動き	・順調に生育している。
	◎	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・民間製造系企業の設備投資に伴う受注が順調に推移している。
	◎	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・営業案件リストに追加することはあっても、削減することはない状況にある。
	○	電気機械器具製造業（企画担当）	取引先の様子	・生成AI市場が注目を浴びているなか、AI向け高付加価値DRAMの需要が非常に高くなっており、在庫を抱えていた顧客が設備投資に前向きになっている。
	○	金融業（広報担当）	取引先の様子	・春の祭りシーズン以降、団体よりも個人の観光、インバウンド需要が目に見えて増加している。しかし、物価上昇に賃上げが追いついていない状況が肌感覚でも継続しており、消費意欲は高まっていない。
	○	司法書士	受注量や販売量の動き	・登記所における申請件数が前年比5%程度増えている。
	□	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量の前年割れが続いており、やや悪い状況に変わりはない。
	□	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・顧客の様子に違いはあるが、全体的にみると受注量に変化はない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・案件は増えつつあり、客先への価格転嫁の交渉を行いながら受注につなげられるよう努力している。景気は3か月前と変わらない。
	□	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注量が伸び悩んでいる。例年5月以降は受注量が増えるが、今年はまだ増えていない。
	□	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・一定の受注はあるものの、受注量に大きな変化はない。
	□	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は少し回復傾向にある。運賃の値上げが徐々に浸透してきたことも要因の1つとみている。ただし、物流量が増えているという実感はない。
	□	通信業（営業担当）	取引先の様子	・顧客の反応をみる限り、いまだ対面営業をしにくい状況にある。
	□	広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・イベントの開催は新型コロナウイルス感染症発生前の状況に戻っているが、物価や人件費、エネルギー価格の高騰等により収益が圧迫される懸念があるため、広告費を縮小する企業が多い。
	□	経営コンサルタント	それ以外	・人手不足への対応策として中小企業でも相応の賃上げが実施されているが、食品を中心とした消費財の価格上昇がそれを上回る状況が続いている。
	□	公認会計士	取引先の様子	・顧客の月次、決算状況から判断している。前月から引き続き小売業、サービス業、飲食業等は売上回復が続いており、業績は好調である。一方で、製造業は相変わらず部品不足等で売上が上がらず、苦しい状況である。建設業は前月と変わらずそこそこの売上を維持している。全体としてはやや良い状況である。
□	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・今年はゴールデンウィーク後半も4月に出荷したため、5月は良くない状況になっている。	

	□	その他非製造業 〔飲食品卸売業〕（経理担当）	受注量や販売量の動き	・値上げの影響で受注量が減少傾向にある。
	□	その他企業〔企画業〕（経営者）	それ以外	・ゴールデンウィークの宿泊施設への客の入込はさほどではなく、その後の予約状況も芳しくない。観光道路への通行車両の数も期待したほどではない。
	▲	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィークは前年より人出が少なく、苦戦を強いられた。物価高騰もあり、消費者の土産に対する財布のひもが固くなっている。
	▲	食料品製造業（製造担当）	受注価格や販売価格の動き	・来客数は前年比ではそれほど落ち込んでいないものの、客単価の落ち込みが売上に響いている。
	▲	出版・印刷・関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月以降、受注の件数が減っている。物価高騰のあおりで消費が冷え込み始めている。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・現在、顧客の最重要案件の業務に注力していることから、他の発注案件が停滞している。
	▲	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・客先からの引き合いが少ない状況が続いている。案件の先延ばしもあり計画値に届いておらず、厳しい状況である。
	▲	広告代理店（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・仕入価格が上昇しているが、値上げ交渉がまとまらず、受注価格に転嫁できない。
	×	窯業・土石製品製造業（職員）	受注量や販売量の動き	・官需、民需共に受注量が減少しており、厳しい状況である。
雇用 関連 (東北)	◎	—	—	—
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・業種により差はあるものの、前年同月と比べ新規求人数が増えている。
	□	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・3月決算で過去最高益を記録した企業が多く、求人意欲が高い状況が続いている。営業職や建設業関係の施工スタッフ、飲食店スタッフのニーズが顕著である。
	□	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・採用要件を絞る動きが一定数みられ、採用決定者数は横ばいである。
	□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・3か月前から継続して求人の動きは鈍く、前年比ではマイナス傾向が続いている。
	□	新聞社〔求人広告〕（経営者）	それ以外	・求人広告に限らず、広告全般の動きが止まっている。積極的に広告を行い、売上拡大を目指す顧客がほとんどいない。
	□	新聞社〔求人広告〕（経営者）	周辺企業の様子	・県内各地の桜祭りの人出や大型連休中の観光客は前年より増加している。しかし、好転したのはサービス業のみで、それ以外の業種には上向きの気配はみられない。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・県内企業の広告の動きが鈍く、売上も前年割れとなっている。
	□	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・企業の採用意欲は高いが、売上増加などによるものではなく、少子高齢化による労働力不足が要因であり、景気はやや停滞している。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・卸売業や小売業、宿泊業飲食サービス業等は新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後に増加した求人数が一巡して減少している。製造業の求人数は増加している。
	□	学校〔専門学校〕	求人数の動き	・就職希望者以上に求人件数が確保できていることから売り手市場となっている。しかし、求職学生とのマッチングでみると買手市場となる場合がある。
	▲	アウトソーシング企業（経営者）	それ以外	・AIの進化で仕事が減っている。
	▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が3か月連続で減少しており、月間有効求人数も3か月連続で減少している。
	▲	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・大手企業数社から経営難の話聞いている。
	×	*	*	*